

## 飼料費高騰への対策について

### (共通)

- ・適切な飼養管理・衛生管理の徹底による事故率の低減、ストレス軽減
- ・飼料設計の適正化とそれに基づく飼料給与、食べ残し、食べこぼしの低減
- ・フィーダー等給餌用機器の管理の徹底
- ・暑熱対策の徹底（屋根断熱材、石灰塗布、ペンキ塗布、散水、クーリング・パッド、送風機の適切な利用）
- ・ICT 機器活用による生産性向上・省力化推進
- ・飼料作物、飼料用米、WCS 用稲の作付拡大による飼料自給率の向上
- ・エコフィールドの利用拡大による飼料費の低減
- ・飼料作物関係機械の適切なメンテナンスによる長寿命化や共同利用によるコスト削減
- ・飼料の適切な保管による品質の保持
- ・飼料の共同購入や流通経路等の見直し（コンテナ直送等）による経費の低減

### (酪農)

- ・良質な自給粗飼料の増産（単収向上、奨励品種の利用、適期収穫、適正な施肥）による購入飼料費の削減
- ・発情発見等、繁殖管理の徹底による分娩間隔の短縮
- ・暑熱ストレス対策徹底、朝晩涼しい時間帯での給与による夏場の搾乳量維持と受胎率向上
- ・乳房炎対策の徹底による乳質・乳量の向上

### (肉用牛繁殖)

- ・良質な自給粗飼料の増産（単収向上、奨励品種の利用、適期収穫、適正な施肥）による購入飼料費の削減
- ・放牧利用による飼料費の削減と省力化の推進
- ・発情発見等、繁殖管理の徹底による分娩間隔の短縮
- ・高能力母牛への更新（ET 受精卵技術の活用、家畜導入事業等の活用）
- ・子牛防寒対策の徹底

(肉用牛肥育)

- ・適切な飼養・衛生管理による事故率の低減
- ・肥育前期に良質粗飼料を多給する長崎型新肥育技術の導入による枝肉重量の増加と肉質の向上
- ・適切な飼料設計による増体の向上と飼料効率の改善
- ・個体ごとの増体の状況に応じた肥育期間の短縮
- ・一貫生産による素畜費の削減

(養豚一貫)

- ・衛生管理の徹底、適切な温度管理による事故率の低減
- ・母豚の適切な管理・発情発見による受胎率向上と産子数の増加
- ・人工授精技術や多産系母豚の導入による産子数の増加
- ・適切なワクチネーションによる疾病予防
- ・出荷体重の均一化等による上物率の向上
- ・クーリング・パッド等による暑熱対策の徹底
- ・飼料用米やエコフィードの利用による飼料費の低減
- ・ベンチマーキングの導入推進

(採卵鶏)

- ・衛生管理の徹底、適切な温度管理による事故率の低減
- ・暑熱、防寒対策の徹底による飼料費の低減
- ・適切なワクチネーションによる疾病予防
- ・自家育雛・育成による素畜費の削減
- ・誘導換羽の実施による飼養期間の延長
- ・飼料用米の利用による飼料費の低減

(ブロイラー)

- ・衛生管理の徹底、適切な温度管理による事故率の低減
- ・暑熱・防寒対策の徹底による飼料費の低減
- ・適切なワクチネーションによる疾病予防
- ・間欠照明による飼料費・電力費の低減
- ・飼料用米の利用による飼料費の低減